

創薬における「坂の上の雲」

「革新的な薬の創製をいかにイメージするか」
「ヒトの有効性について基礎と臨床のハザマをどう考えるか」
「基礎研究の成果から革新性と将来性をどう予見するか」
アカデミアや製薬会社は、はるか遠くにある「坂の上の雲」を夢見て、研究開発に汗を流している。

講師



ふくしま だいきち
福島 大吉

●公益財団法人 小野
医学研究財団 理事長
(前・小野薬品工業株
式会社社長)

日時

2018. 7. 19 (木)
午後4時～5時30分
(午後3時開場)

参加費無料・事前申込必要

対象: 一般の方、教職員、学生、大学院生

場所

兵庫医療大学
オクタホール(P棟)
(神戸ポートアイランド内)

お申込方法

電話、FAX、電子メールにてお申込み下さい。
電話(078-304-3022) FAX(078-304-2721)
E-mail(kenkyu-shien@huhs.ac.jp)

※お電話受付: 平日 午前9時～午後5時まで

- ・FAX、e-mailの場合は、①参加講演会日時、講演名
- ②氏名(グループの場合は代表者) ③参加人数
- ④連絡先を必ず明記ください。

・お電話の場合は上記①②③④を本学担当者が伺います。

※定員(200人)になり次第締め切らせて頂きます。

※取得した個人情報は取得目的の範囲内で利用し、講演会終了後に破棄いたします。

<アクセス>

ポートライナー「みなとじま」駅より徒歩15分



本日の講演会場(オクタホール)は、兵庫医療大学の最西端(海側)に位置します。本学山側(北側)の側道を海側に向かってお進み頂き、西門を入り、向かって右の「P棟オクタホール」へお越し下さい。

<主催> 兵庫医療大学

<お問い合わせ先>

兵庫医療大学 研究支援課

TEL:078-304-3022 FAX:078-304-2721

E-mail(kenkyu-shien@huhs.ac.jp)



兵庫医療大学
社会学連携推進機構



平成30年度 兵庫医療大学 第2回学術講演会

講演タイトル : 創薬における「坂の上の雲」
開催日時 : 平成30年 7月 19日(木) 午後4時～5時30分
場所 : 兵庫医療大学 オクタホール
講師 : 福島 大吉(ふくしま だいきち) 先生
公益財団法人 小野医学研究財団 理事長
(前・小野薬品工業株式会社会長)
主催 : 兵庫医療大学

[プログラム]

16:00 挨拶
16:05 講師紹介
16:10 講演開始(講師 福島 大吉 先生)
17:10 講演終了
17:10～17:25 質疑応答
17:30 解散

【講演概要】

薬学部の皆さんは「薬」の大切さとともに、「新薬を創る／創薬」の難しさについて見聞きすることも多いと思います。ヒトゲノムの完全解読が成功した時、有用な薬の材料が発見されたのだから、近い将来にはたくさんの新薬ができるだろうと期待されました。

でも、現実はそんなに甘くはありませんでした。新規な創薬標的をもとに苦労して新薬のタネを創ったけれど、思わぬ副作用が出たために開発は失敗した経験、効いたことは間違いないが期待したほどの効果が得られなかったという話はたくさんあります。さらに、たとえ開発がうまく行ったとしても、「この程度なら既存薬の〇〇と大差はないよ」と言われてはたまりませんよね。

「今までになかった薬効の新薬で、世界中の患者さんを救いたい！」

アカデミアや製薬会社で働くみんながそう思っているのです。

はるか遠くにある「坂の上の雲」を夢見て、研究開発に汗を流しているのです。

私もその一員でした。製薬会社での40年間、数多くの失敗や成功を体験しました。研究の現場から遠ざかって久しいので最新のサイエンティフィックな話をすることはできませんが、「革新的な薬の創製をいかにイメージするか？」という点について個人的な経験をもとにお話したいと思います。具体的には、ヒトの有効性について基礎と臨床のハザマをどう考えるか、基礎研究の成果から革新性と将来性をどう予見するかについてお話しします。

以上